

第385回三木市議会定例会 市長 開会あいさつ

令和7年2月21日

議会の開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、第385回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆さまにおかれましては、公私ご多用の中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

平素から市政の運営につきまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、来月8日、9日には、山田錦まつりを開催します。灘五郷をはじめとする酒造メーカー11社が一堂に会し、吉川町産の山田錦で醸した自慢の銘酒を紹介するとともに、日本酒の試飲や販売など、各酒造メーカーと山田錦生産農家が中心となり、日本酒の消費拡大や地域特産物のPRなど、酒米「山田錦」をテーマに市内外の方々と交流を図ります。今回の山田錦まつりは節目の30回目を迎え、日本酒トークショーや30回を記念した記念杯グラスの販売など、従来の内容に加えて開催します。また、先月24日には、三木市を含む北播磨・六甲山北部地域の「兵庫の酒米「山田錦」生産システム」が日本農業遺産

に認定されるとともに、昨年12月5日には、日本酒など日本の「伝統的酒造り」がユネスコの無形文化遺産に登録されており、未来に向けて新たな展開が期待されます。

さらに、来月17日には春高・春中ゴルフが開会し、19日から21日までの3日間、高校生、中学生ゴルファーの熱い戦いが繰り広げられます。これに合わせて20日には、2回目のゴルフまつりを開催します。

このように、春の訪れとともに、三木市が誇る地域資源をテーマにしたイベントが開催されます。これらのイベントは、三木市が誇る地域資源をPRする絶好の機会です。多くの市内外の方にご参加いただき、地域資源の魅力に触れていただきたいと思います。

このたびの市議会定例会は、令和7年度の各会計予算をはじめとする案件についてご審議をいただき、極めて重要な議会であり、条例関係11件、市道路線の廃止・認定関係2件、新年度予算7件、令和6年度補正予算6件、その他3件の、併せて29件の提案を予定いたしております。

また、現在、国会審議中の法令改正の成立により、条例関係3件を追加提案する予定といたしております。

新年度予算をはじめ、私の市政に対する思いは、後の施政方針で述べさせていただきます。

議員の皆さまにおかれましては、どうか慎重なるご審議をいただき、適切なるご決定を賜りますようお願いを申し上げ、開会のあいさつといたします。